

1 月 模 試 分 析

…いまは2年生0学期

【総 合】

今回で1年生全体での模試は終了です。

総合(国数英)の偏差値の変化は、

7月 56.8 偏差値 60以上 80人

11月 57.4 偏差値 60以上 80人

1月 57.9 偏差値 60以上 85人

となりました。

上位層の人数がやや増加しましたが、全体の伸びとしては0.5しかなく、かなりもの足りません。

この3月は、期末考査が終了し解放された気持ちになる時期ですが、1年間の取り組みを振り返るのにも良い期間です。

先日実施したスタディサポートで、個人の1年間の伸びしろがわかります。2学年7月の模試に向けて、今のうちに1年生でやり残したことをできる限り片付けておきましょう。1年生が修了したからといって、1年間分の知識が自動的に頭に入るわけではありません。

【国 語】

今回の国語の平均点は42.2点で、決して高いとは言えない数値でした。問題のレベルは7月・11月模試と比べると、確かに「やや難」でしたが、全国平均35.3点を考えると、もう少し差をつけたいところです。前回の模試講評では「模試の難易度が全体として上がった時にその成績を維持、上昇させられるかは未知数」と書きましたが、残念ながら、基礎事項がまだ不十分だと言うことが判明しました。

分野別の平均(括弧内は全国平均)は以下の通りです。

評論 13.4点(11.6点)

小説 10.9点(9.9点)

古文 10.3点(8.3点)

漢文 7.3点(5.1点)

それぞれ少しずつ全国平均を上回っている程度ですが、今後、更に差をつけていきたいのは古典分野です。今回は、何で差がつけられたかという漢文でした。直前に確認した読みが出題されたということもあり、高得点

でしたが、古典はこういった基礎事項を確実に習得し、様々な文章を読んで応用力をつけていけば、確実に点数につながります。それを疎かにしたままだと、これから文章自体が難しくなっていくから、ますます理解ができなくなっていくから。

今回の後期期末考査の状況も踏まえて考えると、1年生の残り最低限クリアしておかなければならないのは「古文単語」と「助動詞」です。「古文単語」は今までの考査や朝学習の範囲にしていた語をもう一度復習しておきましょう。助動詞は今授業で扱っているプリントで意味と接続をもう一度確認してください。

そして、古典分野は基礎事項の習得が終わった訳ではなく、2年生では更に、助詞の使い分け等を新たに学びます。それらを含めた基礎事項の習得は2年生までに完成させるのが理想的です。3年生になって応用力の強化ができるように、今の基礎固めを大事にしましょう。基礎がない所には何も構築できません。

【英 語】

発音・アクセント問題は配点4点に対して平均1.9点であり、他校と比べても決して低い数字ではないですが、特にアクセント問題の正答率が低いようです。日々の音読をますます大切にしていくと共に、音節・接頭辞・接尾辞についての理解を深めていきましょう。

文法・語法問題の内容は「時制、語法、比較、前置詞、受動態」でした。11月模試と比べると「時制」「語法」の2つが被っており、同時に正答率も高くはありません。この「時制」と「語法」の問題はセンター試験や今後の模試では最頻出問題であるため、1年生で学んだ基礎を今一度復習し、「なぜその答えになるのか」を理解できるようになりましょう。

長文読解の平均点は高く、教科書、速読英単語のみならず継続的な週末課題への取り組みや家庭学習の成果が出ているようです。今後も「単語力」そして「読解力」を身につけていくために毎日の学習を頑張ってください。裏面につづく

球技大会 その1

開会式→チア→ラジオ体操



【数 学】

数学全体の平均点偏差値は、57.5 であり、前回から 1.3 上昇しました。

単元別の偏差値は、大問 4 の「図形と計量」と大問 5 と「確率」が、道内上位校と比較しても上位にあるものの、大問 1～3 の「小問集合」「数と式」「2 次関数」の偏差値は、同じ学校と比較すると、下位に位置しています。ここからわかることは、講習や長期休業の課題などで取り組んだ内容は、点数が取れているが、既習の範囲（学習してから時間が経っている範囲）については、点数がとれていない。学習したばかりの内容は出来るが、時間が経つと出来なくなるということは、復習が十分ではなく学習内容が定着しっかりとされていないということです。

今後、学習内容はさらに増えていきます。受験の時にパンクしてしまわないように、復習をしっかりとしていくことが大切です。

目標ラインはどこに？

…あと 2 年間だから考える

いま現在自分が目標としている大学のボーダーラインはセンター試験では何%でしょうか？「よくわからない」人は 4 階廊下に貼ってある難易度ランキング表を見てみましょう。ただし、それはあくまでもボーダーライン（合格率 50%）であって、合格ラインはもっと上にあります。

みんなの頭に浮かぶ中堅の国公立大学のボーダーラインは、おおよそセンター試験の得点率 70% です。今春受験した本校 3 年生（約 200 人）のうち 70% を越えたのは 51（文 27 理 24）人しかいません。今年は例年より得点率が高かったようですが、それでもこの数字です。「中堅国公立大を狙うなら学年順位 50 番以内」といわれる根拠はここにありません。

努力の積み重ねがそのまま点数につながるのがセンター試験です。努力し始めるのは、早いほうがいいに決まっています。

今後の予定

3/14（水）10:00 以降登校 ③～⑦ 授業

3/19（月）⑤⑥ 小論文講演会

3/19（月）・20（火）6 時間授業

3/22（木）5 時間授業

3/23（金）終業式（午前授業）

3/24～ 春期講習

フットサルに先生チームが登場
ボールを蹴るたびに歓声上がる

その 2 へつづく